

両殿下のご日程

5月7日

林田ホテル (発09・15) — 高屋山陵 (着10・55 発11・25) — 磯別邸  
 (着13・05 発14・05) — 尚古集成館 (着14・15 発14・45) — 城山公園 (着15・05 発15・20)  
 一名山棧橋 (着15・30 発15・33) ~ 袴腰港 (着15・58 発16・01) — 水族館  
 (着16・16 発17・06) — 袴腰港 (着17・21 発17・24) ~ 名山棧橋 (着17・49 発17・52)  
 一岩崎谷荘 (着18・00)

5月8日

岩崎谷荘 (発09・05) — 観光物産館 (着09・10 発09・40) — 体育館  
 (着10・00 発12・00) — ヨット・ハウス (着12・05 発12・50) — 鴨池競技場  
 (着12・55 発13・30) — 久野商店 (着13・40 発14・05) — 愛の聖母園 (着14・40 発15・20)  
 一谷山駅 (着15・27 発15・30) — 山田川駅 (着16・48 発16・51) — 長崎鼻  
 (着17・24 発17・49) — 指宿観光ホテル (18・35)

5月9日

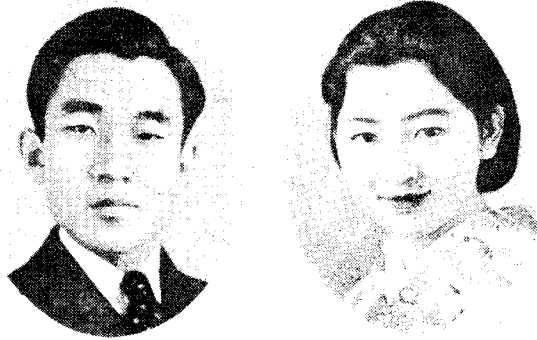
指宿観光ホテル (発08・30) — 鹿大植物試験場 (着08・50 発09・20)  
 一山川港 (着09・55 発09・58) ~ 鹿屋港 (着11・18 発11・21) — 鹿屋市役所  
 (着11・56 発12・51) — 吾平山陵 (着13・41 発14・16) — 垂水港 (着16・26 発16・29) ~  
 名山棧橋 (着17・24 発17・27) — 日本製粉工業 (着17・45 発18・15) —  
 岩崎谷荘 (着18・30)

5月10日

岩崎谷荘 (発08・30) — 護国神社 (着08・50 発09・05) — 可愛山陵  
 (着11・35 発12・03) — 川内駅 (着12・18 発12・23) — 『はやぶさ』で熊本へ

例 -- お召自動車 == お召列車  
 -- お徒歩 ~ お召船

皇太子同妃殿下のご旅行



両殿下をお迎するにあたって私達は次のことを心がけて親しく迎えましょう。  
 ◎家ごとに国旗をあげましょう。また沿道で歓迎する時は手旗を準備しましょう。  
 ◎アーチや懸垂幕および商店街などで装飾することはさしつかえありません。  
 ◎お道筋に住んでおられる方は、道路に品物を置いたり、車をどめたりして交通の妨げにならないように注意しましょう。  
 ◎お道筋近の方で、犬を飼っている方は、犬を野放しにしないでください。  
 ◎歓迎のために家をあける時は、とくに火の始末と戸締りに注意してください。

◎高殿下とも平服ですからみなさん普通の服装をしてください。  
 ◎家のまわりや道路はきれいに清掃して両殿下をお迎えしましょう。  
**やめよう「我先に」**  
 お道筋では大変な人が出が予想されます。熱狂のあまり前に飛び出したり、群衆心理にかられて前の人を押しついたりします。とんでもない事故が起ります。私達は次のことに注意して秩序正しく歓迎迎しましょう。  
 ◎警官や係員の指図には必ず従いましょう。  
 ◎特定のお道筋に多くの人々が集中する恐れがあります。老弱者、幼児、病弱者などはなるべく早目に

前列に並びましょう。また位置に付いたら移動しないように注意しましょう。  
 ◎入道と車道の区別がない所で歓迎迎する場合、なるべく片側に整列しましょう。  
 ◎狭い道、橋、高いがけの上、坂道など、危険な所で歓迎迎は極めて安全な所を選びましょう。  
 ◎団体で歓迎迎する時は、引率者誘導者の指図を良く守ってください。また、引率者や誘導者は後からの人波によって、思わぬ事故が起きないよう注意してください。  
 ◎自動車や自転車などを人ごみの中に乗り入れたら、置き放しにしないでください。  
 ◎小さいお子さんをひとり歩きさせたり迷い子を出したりしないように注意しましょう。  
 ◎遠方から歓迎迎にいらしやる方は、トラックや三輪車に定員以上乗せないように注意しましょう。  
 ◎沿道で写真を撮ることは自由ですが、フラッシュを使用することは遠慮しましょう。また撮影のためにお車や両殿下の近くに走り出したり、高い所に登るのは危険です。からやめましょう。  
 ◎万才を三喝することは自由ですが、なるべく暴発的に行わないようにしましょう。  
 ◎お道筋を追って移動することは混雑を招きますからやめましょう。  
 ◎ごみ合う時は盗難にあたり、物がなくなったりする恐れがありますから持物は十分注意してください。

皇太子殿下同妃殿下は、南九州地方のご視察と日赤九州大会ご出席のため、五月六日から十日まで、県下各地をご旅行になります。両殿下とも、始めて鹿児島においでになります。楽しいご旅行をおえられよう、心からお迎えしたいものです。

秩序ある行動で 心からお迎えしよう



発行所  
 鹿児島市秘書課  
 編集人 藤山良弘  
 発行人 南日本新聞社印刷局

市の現勢

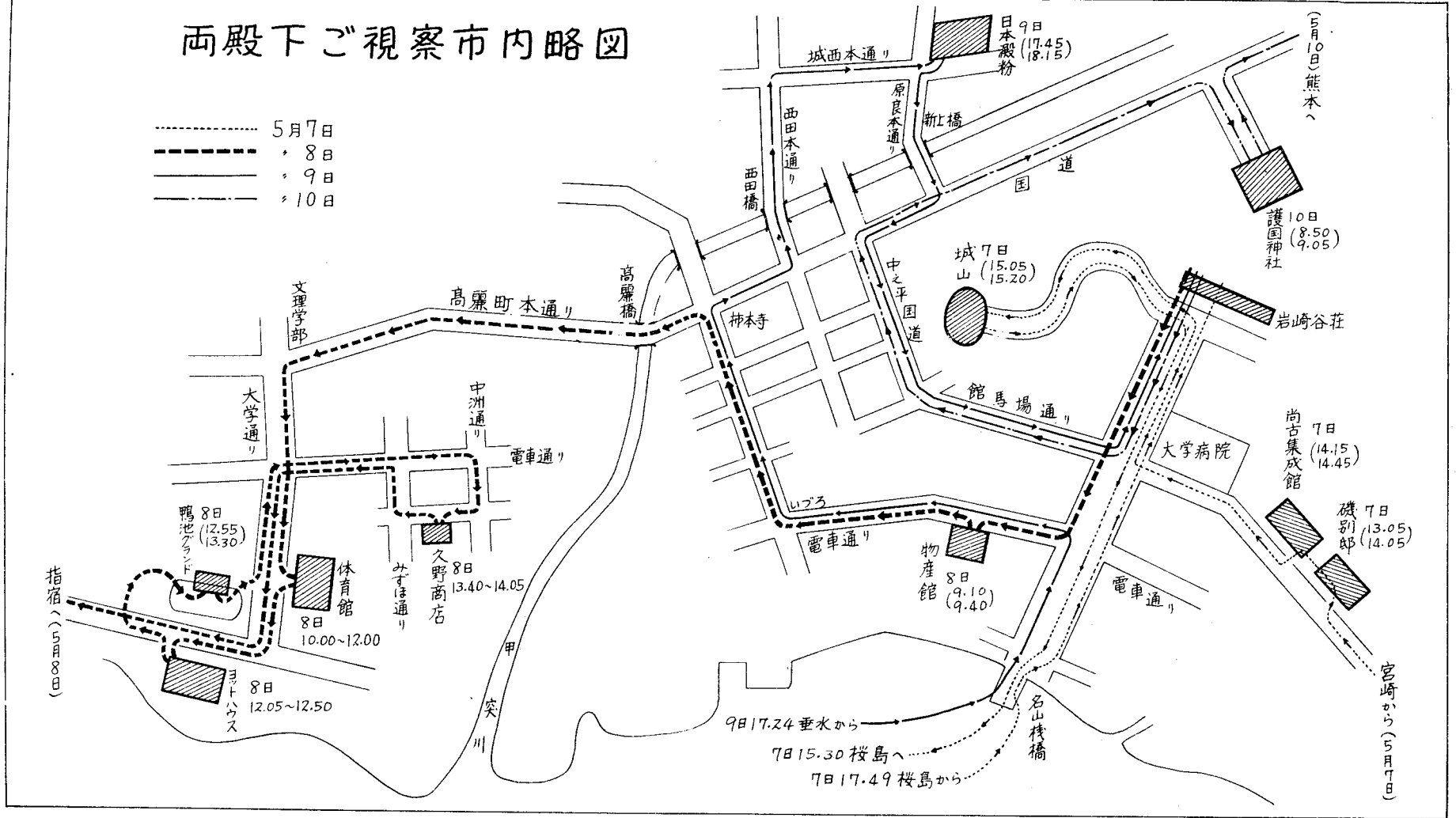
人口 (4月1日現在)

男	144,488
女	159,150
計	303,638
世帯数	79,701


前記に並びましょう。また位置に付いたら移動しないように注意しましょう。  
 ◎入道と車道の区別がない所で歓迎迎する場合、なるべく片側に整列しましょう。  
 ◎狭い道、橋、高いがけの上、坂道など、危険な所で歓迎迎は極めて安全な所を選びましょう。  
 ◎団体で歓迎迎する時は、引率者誘導者の指図を良く守ってください。また、引率者や誘導者は後からの人波によって、思わぬ事故が起きないよう注意してください。  
 ◎自動車や自転車などを人ごみの中に乗り入れたら、置き放しにしないでください。  
 ◎小さいお子さんをひとり歩きさせたり迷い子を出したりしないように注意しましょう。  
 ◎遠方から歓迎迎にいらしやる方は、トラックや三輪車に定員以上乗せないように注意しましょう。  
 ◎沿道で写真を撮ることは自由ですが、フラッシュを使用することは遠慮しましょう。また撮影のためにお車や両殿下の近くに走り出したり、高い所に登るのは危険です。からやめましょう。  
 ◎万才を三喝することは自由ですが、なるべく暴発的に行わないようにしましょう。  
 ◎お道筋を追って移動することは混雑を招きますからやめましょう。  
 ◎ごみ合う時は盗難にあたり、物がなくなったりする恐れがありますから持物は十分注意してください。


# 両殿下ご視察市内略図


..... 5月7日  
 - - - - - 8日  
 = = = = = 9日  
 — — — — 10日





  
 修理車  
 その他  
 (四・五両)


  
 後押車  
 (自ハイ)


  
 報道員車  
 (バス)


  
 後方無線車


  
 警察予備車


  
 随従車


  
 随従車


  
 供奉車


  
 供奉車

  
 お召自動車  
 (旗)

  
 前駆車  
 (自ファンカ)

  
 報告員車  
 (自ハイ)

  
 広報車

  
 先行車

3~5分まえ  
 10分まえ

**お召自動車  
 編成順序**